

家庭菜園でトマトを栽培されている皆さまへ

トマトの病害(トマト<sup>おうか</sup>黄化<sup>はまきびょう</sup>葉巻病)の  
発生拡大防止にご協力ください！



(写真 葉の黄化・葉巻症状)

最近、**トマトに黄化葉巻病**という病気が発生しております。この病気は昆虫（タバココナジラミ）により媒介されるウイルス病で、発生が拡大するとトマトの生産に甚大な被害を与えます。現在、生産農家や関係機関が一体となって、発生拡大防止に取り組んでいます。**トマトやミニトマト**を作られる時には、発生拡大防止のために、以下のことにご協力をお願いします。

トマトを家庭菜園で栽培される皆さまに協力をお願いしたいこと

① 発病したトマト株のすみやかな抜き取り等の処分

**発病したトマト株**は、新しく実がつかなくなります。また重大な**伝染源**となり、周囲のトマトや周辺の栽培圃場に病気が移る可能性が高くなります。発病した株を見つけた場合は、すみやかに抜き取り土中に埋めるか、虫ごと透明のビニール袋等に入れて、日光に当てて高温にして株を枯らして下さい。

② 畑の片付けと除草

この病気を媒介する**タバココナジラミ**を減らすため、収穫後のトマト株は放置せずに**早期に処分**することや、畑周辺の**除草（雑草の除去）**をお願いします。

**ご理解とご協力をお願いします。**

トマト黄化葉巻病の特徴等については、裏面をご覧ください。

## トマト黄化葉巻病 の症状

新葉が黄色くなって表側又は裏側に巻き、上位部が萎縮します。さらに生長が止まってしまうため、実がつかなくなってしまいます。この病気は発病すると治すことができません。なお、病気にかかったトマトを食べても人間の健康に影響を与えるものではありません。



写真 典型的な葉の萎縮と黄化・葉巻症状

## 伝染

この病気はタバココナジラミという小さな虫が媒介します。この虫は黄化葉巻病にかかっているトマトの汁液を吸った時に病原ウイルスを体内にとり込み、他のトマトの汁液を吸った時にそのウイルスを移し、死ぬまで病気を伝搬します。この虫は多くの野菜の他、花、雑草でも増殖します。



成虫



幼虫

タバココナジラミの成虫(写真左)は、体長0.8mm程度で羽が白く、体色は淡黄色。幼虫(写真右)は、黄色で、扁平な体の背面がわずかに盛り上がっています。成虫・幼虫とも、葉の裏に付いて汁液を吸います。成虫は葉を揺らすとフワフワと舞い上がります。

その他、タバココナジラミに関する防除対策については、病害虫防除所ホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/> を参照して下さい。

お問い合わせは、最寄りの農林事務所（農業改良普及センター）または病害虫防除所まで。

（茨城県病害虫防除所 電話番号 029-227-2445）